

意見番号	大項目	小項目	意 見	回答
1	3 産業	(2) その 対策 ①農業	シカによる被害は長らく発生しており防護ネットの設置などで対策をとっているものの、昨今激増したサルの被害についてはお手上げ状態である。電気柵を張り巡らしてもどこからか侵入してくるし、家庭菜園程度の広さでは、助成を受けたとしても電気柵を設ける費用捻出も難しい。できれば寄せ付けない方策を考えてほしい。一例を挙げれば、サル対策として爆竹を鳴らす、一時的なもので翌年には再び現れるが、銃猟でサルを追い払った時は、それ以後は出現がなかったという。	今後の鳥獣害対策を進めていく上で参考とさせていただきます。
2	3 産業	(2) その 対策 ③水産業	蓮ダムができてから櫛田川に魚がめっきり減ったと長老からよく聞かされるが、本当にダム建設が原因なのか科学的調査を実施してほしい。宮川にも雲出川にもダムは建設されているが、魚影は濃くシーズンになると釣り人の姿が多い。ではなぜ櫛田川の魚影は薄いのか明確な根拠が判明すれば、それに対する策を講じることが可能となろう。	蓮ダムの水質や生態系に影響を及ぼす底質の現状等を把握するための調査等は、国土交通省中部地方整備局により実施されているものと承知しています。水産資源の保護と増殖などを目的に、地元の漁協が行っている稚魚の放流事業等に対する支援を継続していきます。
3	3 産業	10 集落の 整備 (2) その 対策	「まつさか移住交流センター」を拠点とした空き家バンク制度は賛同できるが、わが有間野では登録前の段階に多くの問題が介在している。仏壇や家具などの対処ができなかったり居住者不在で連絡が取れなかったりと、自治会での対応を超えた状況が見られ、役所の積極的関与を期待したい。	空家バンク制度は所有者（もしくは相続人）から相談や申請をいただいてから登録や紹介を行う仕組みとなっています。登録いただいた物件における家財道具の処分については、10万円を上限として家財処分費の補助を行っており、今後も事業の周知に努めます。 また、居住者不在で連絡が取れず、適切に管理されていない空き家については、建築開発課において市民の相談を受けた際に、所有者や相続人を調査したうえで、適正な管理を促しています。
4	全体		飯南・飯高地域にとって大切な計画だと思いますが、地域の意見は反映されているのでしょうか。	P12に記載しているとおり、地域の住民などで構成される「過疎地域の持続的な発展を考える会」において計画の進捗状況の確認・効果の検証を行うなど、定期的に意見交換できる場を設け、地域の意見を反映させるよう努めています。
5	全体		各項目のはじめに、「地域からのメッセージ」という記載がありますが、全体構成上あまり親和性がよくない様に感じました。もう少し表記の工夫が必要の様に思いました。	地域の住民などで構成される「過疎地域の持続的な発展を考える会」との意見交換の場で、各項目に対してキャッチコピーの提案いただきました。 掲載方法は、構成上の親和性を考慮し、各項目のサブタイトルとして表記します。
6	飯高地域資源活用交流施設（道の駅）		飯高道の駅は、休日は沢山の車で混雑しており、この地域の観光や交流において重要な施設だと思いますが、施設の整備については書いてあると思いますが、これからの施設の方向性などもう少し記載をした方が良いのではないかと思います。	道の駅「飯高駅」は、休憩機能、地域振興（交流）機能、また、情報発信機能、という道の駅に求められる機能を備えるほか、温泉施設も併せ持ち、多様な方にご利用いただいております。 機能が多岐にわたっており、計画内においても道の駅「飯高駅」に関する記述が分散している状況ではございますが、今後も「地域活性化の拠点施設」として位置づけを継続し（本文 P20）、施設の整備や各種イベントとの連携を通じて、さらなる賑わい創出につなげていきたいと考えています。

